

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写

08-026

大 政事外外使官
大務務 典房
次次
臣秘官官審審長長

①①経①査総官 外
大々ア察括房 研
使使大審審審 長

総口対文⑤厚情研

察人⑤在儀警史オ

①報官 審報際内外

文長 審一二

健長 参政保対旅外

①地中東
①①東西

北米長 審一二保地

中南長 参一二

欧 審西口洋
① ①西東
① ①

①①長 審一二アア
① ①

経 次総経途
長 参経漁国
① ①
① ①
① ①
① ①

① 参海 ① 審準

経協長 審①国開無
密調①有現

①長 審条協規

国 審政経人
長 参軍社

科 科原
審

①調長 密①調
企安

総 番 号 R188570

月 18日

平成 4年 9月 18日

韓 国 発

本 省 着

主 管

亜 北

外 務 大 臣 殿

後 藤 大 使

在韓ひ爆者支援拠出金

秘密指定解除

公文書監理室

第3504号 秘 至急（ゆう先処理）

（以下FAX送信 SO3557-01）

秘密指定解除

公文書監理室

秘

往電第3083号及び貴電ア北第1405号に関し、

1. (冒頭往電2. に関し) 15日、呉松(わつ)外務部東北亜1課事務官は、往訪した相馬に対し、本件拠出金に関する韓国側口上書の文言の修正について、「本件拠出金平成4年度分23億円の拠出要領をより正確に口上書の文言に反映させるとの観点から、日本側から提示されていた韓国側口上書の案文(当館注: 貴電ア北第937号別FAX信3頁目)に『平成4年度分拠出金が日本政府から大韓赤十字社に拠出される』旨の文言を追加し、また、右追加に合わせる等の意味も含めて文言をさらに若干修正することが望ましいと考える。」と述べつつ、当方より提示しておいた韓国側口上書の案文に対する韓国側の修文案を提示越した。(当館で明らかに修文を要するものと考えられる点のみ、手書きで加筆しおいた。)

ついては、上記韓国側修文案を別FAX信にて送付するので、御検討の上結果回電願いたい。

2. (冒頭往電1. に関し) 上記1. に引き続き、当方より、冒頭貴電2.

(1) の書面による確認を催促したところ、先方は、外務部より保健社会部及び大韓赤十字社に対して書面の早急な提出を督促しているところであるが、保健社会部及び大韓赤十字社より未だ作成中との回答を得ており、今暫くお待ち頂きたい旨応答越した。

(了)

F A X 信

秘密指定解除

公文書監理室

秘

総 番 号 R188572

主 管

月 18日

韓 国 発 着

亜 北

平成 4年 9月 18日

本 省 着

外 務 大 臣 殿

後 藤 大 使

在韓ハ爆者支援拠出金

F A X 信 秘 至急 (ゆう先処理)

(以下FAX送信 SO3558-01)

SO3558 -1

往電第 3504 號別FAX信

MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS

REPUBLIC OF KOREA

OAI-

the about

The Ministry of Foreign Affairs of the Republic of Korea presents its compliments to the Embassy of Japan and has the honour to refer to the Embassy's note of (), 1992 informing the Ministry that the Government of Japan is ready to contribute 2 billion and 300 million yen for the victims of the atomic air raids, who are now in the Republic of Korea. It is understood that the said contribution is the remaining portion of 4 billion yen pledged by the Government of Japan during President Roh's visit to Japan in May 1990, and will be transmitted directly from the Government of Japan to the Red Cross Society of Korea (hereinafter referred to as "the Society").

The Ministry has honour to confirm that the program for the victims is set up by the Government of Korea and that it is implemented by "the Society" under the supervision of the Government of Korea, in accordance with the letters which will be exchanged between the President of "the Society" and the Ambassador of Japan in 1992.

The Ministry of Foreign Affairs of the Republic of Korea avails itself of this opportunity to renew to the Embassy of Japan the assurances of its highest consideration.

Seoul,

1992

(3)